平成 23 年度　施策達成度評価シート　（平成 22 年度実績評価）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
6	環境との共生	63	地球環境への貢献

施策主管	環境部	評価者（施策統括マネージャー）名	細川　恒

1　施策の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
廃棄物、資源、市民・事業者	環境負荷が軽減される。

2　達成度

（1）成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22計画（年度目標値）	H22実績値	H23計画（年度目標値）	H26計画（年度目標値）
市民アンケート調査「CO2の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合	%	↗	74.90	51.00	78.10	52.00	55.00
一般廃棄物の1人1日あたりの排出量	g	↘	1,035	1,080	1,005	1,062	1,027
最終処分場での年間処理量	トン	↘	14,585	16,679	13,585	16,550	16,292

（2）近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
市民アンケート調査「CO2の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合	他都市において、同様の調査は行っていない。
一般廃棄物の1人1日あたりの排出量	盛岡市1,005g　秋田市1,141g　山形市847g　八戸市1,002g ※他都市は速報値。仙台市、いわき市は回答なし。
最終処分場での年間処理量	盛岡市13,586トン　八戸市10,984トン　秋田市3,420トン ※他都市は速報値。仙台市、いわき市は回答なし。

3　達成度評価結果

取組内容と成果，成果を得られた要因	○環境を大切にする心の育成 ・市が一事業者として行う環境負荷低減の取組を管理するため導入したIESの認証継続を行った。 ・地球温暖化対策推進法に基づき、盛岡市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定した。 ・計画終了年度を迎えた環境基本計画を改定した。 ○廃棄物の発生抑制・再使用・再生使用 ・容器包装リサイクル法に基づき、ごみの減量と資源の有効利用を図るため、紙製・プラ製容器包装分別を本格実施した。 ・廃棄物多量排出事業者、不動産管理会社、大学等に対して、ごみ減量・分別の徹底について、指導及び協力要請を行った。 ・ごみ減量や分別徹底の啓発効果、経済状況の悪化により、一般廃棄物の「総排出量」「1人1日あたりの排出量」が減少し，最終処分場の年間処理量が減少した。 ○エネルギーの有効利用 ・グリーンニューディール基金の活用などにより、遺跡の学び館等に太陽光パネル、LED照明、ペレットストーブを導入した。
翌年度以降の課題，その要因	○環境を大切にする心の育成 ・盛岡市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)及び環境基本計画を着実に進めるため、市民・事業者と連携して啓発を中心とした各種事業を展開する必要がある。 ○廃棄物の発生抑制・再使用・再生使用 ・紙製・プラ製容器包装の収集率、資源化率の向上のため、さらなる周知・啓発を進める必要がある。 ・廃棄物多量排出事業者、不動産管理会社等に対する指導及び協力要請をきめ細かく行い、成果の向上を図る必要がある。 ○エネルギーの有効利用 ・東日本大震災を教訓に、市民・事業者に対してライフスタイル・ワークスタイルの変革を訴えていく必要がある。 ・太陽光パネル導入補助制度などにより、温暖化対策実行計画に掲げたCO2の7%削減（1990年比）の着実な推進を図らなければならない。

平成 23 年度　施策達成度評価シート　（平成 22 年度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
6	環境との共生	63	地球環境への貢献

基本事業	
コード	名称
631	環境を大切にする心の育成

施策主管	環境部	評価者（施策統括マネージャー）名	細川　恒

1　基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
市民	地球環境保全の大切さが理解される

2　成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22計画 （年度目標値）	H22実績値	H23計画 （年度目標値）	H26計画 （年度目標値）
市民アンケート調査「CO2の発生抑制のため，省エネルギーを常に心がけている」と答えた市民の割合	%	↗	74.3	47.0	74.7	48.0	51.0

平成 23 年度　施策達成度評価シート　（平成 22 年度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
6	環境との共生	63	地球環境への貢献

基本事業	
コード	名称
632	廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用

施策主管	環境部	評価者（施策統括マネージャー）名	細川　恒

1　基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
廃棄物 市民・事業者	廃棄物の発生が抑制され，資源の再使用，再生利用が図られる

2　成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22計画（年度目標値）	H22実績値	H23計画（年度目標値）	H26計画（年度目標値）
家庭系一般廃棄物の1人1日あたりの排出量	g	↘	630	624	609	604	613
事業系一般廃棄物の年間排出量	トン	↘	44,013	43,897	43,118	42,721	44,897
リサイクル率	%	↗	16.6	18.7	17.6	18.8	22.8

平成 23 年度　施策達成度評価シート　（平成 22 年度実績評価・基本事業の状況）

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
6	環境との共生	63	地球環境への貢献

基本事業	
コード	名称
633	エネルギーの有効利用

施策主管	環境部	評価者（施策統括マネージャー）名	細川　恒

1　基本事業の目的（目指す姿）

対象 （誰を，何を対象としているのか）	意図 （この施策により対象をどのように変えるのか）
エネルギー（資源）	効率的に利用されている

2　成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22計画 （年度目標値）	H22実績値	H23計画 （年度目標値）	H26計画 （年度目標値）
市民一人当たりのCO2排出量増加率	%	↘	未確定	0.0	未確定	0.0	0.0
新エネルギー導入件数	件	↗	24	22	27	24	30